

会員各位 ← 社団法人 全国有料老人ホーム協会

## 【東北関東大震災】対策本部連絡 第5号【3/24 16:00】

**1. 救援物資・被災ホームの状況**

3月23日(水)、【第4回輸送】として2トン車2台で2ルートに救援物資を輸送しました。今回から、ガソリンの不足等で分配拠点まで行けない状況の会員ニーズを踏まえ、迅速に物資を供給する必要性から、宮城県利府町、及び茨城県土浦市の2拠点を追加しました。輸送物資には、会員各位からご提供いただいたものと入居者生活支援制度で本協会が手配したものを合わせ、お米3トンのほか、オムツ、お尻拭き、食料品、マスク等、大量の物資が輸送されました。

【Aルート】福島市-仙台市-利府町 【Bルート】土浦市-水戸市-いわき市

被災ホームから会員各位に対して、感謝の言葉が寄せられておりますことをまずご報告します。

現況ですが、ホームの状況は所在地によって異なります。特に福島市・利府町・いわき市などではガソリンスタンドが開かず、その他食材取引業者の仕入れが止まっていたり、職員がずっと泊まりこんでいたりするなど、深刻な状況のホームもあります(ガソリンスタンドの営業は、つくば市、土浦市など、南方面から再開されています)。物流が動き出せば状況は改善されますが、その目処の見極めが困難な状況です。

会員各位には一昨日にFAXしましたが、緊急の物資輸送につきましては、明日出発する便をもっていったん終了することとなります。各位のご協力により2ルートで延べ10回・総重量32トンの物資輸送となります。ありがとうございました。

今後は被災ホーム個別の要請に応える方法を探りますので、ご承知おきください。被災ホームにおかれましては、細かいことでも引き続き事務局までご連絡をいただきますようお願いいたします【担当:松本】。

現在、会員のご協力により、お米やオムツ等をホームが仕入れられる直接ルート等を確立しようとしております。また、<佐川急便>では本日より東京から協会加盟のすべての被災ホームまで、日数はかかる場合がありますが直接戸口まで配送できるようになりました。他の宅配業者やゆうパックも、これまでの「店留め」からホームへの配送が順次可能になります。物資調達にぜひご活用ください。

他方、地震の影響で千葉県浦安市地域では、地面の液状化現象による断水等が続いております。加盟ホームでも被災し、建物の損傷、入居者の負傷等の情報が入っております。

本協会では3月11日の地震発生時直後から、全国各地で震度5強以上を観測した加盟ホームに対する被災状況確認を実施しましたが、今後も宮城県、福島県、茨城県以外の会員において支援が必要な場合は、いつでも本協会までご連絡ください。

**2. 入居者の避難支援実施の件**

3月22日付で入居者受け入れの第2次調査を実施しております【担当:桑田】。これまで100ホーム以上から600名を超える受入が可能である、とのご回答いただいており、感謝申しあげます。被災ホームにおいて避難を希望されるご入居者がいらっしゃる場合は、本協会まで速やかにご連絡をお願いいたします。受け入れ先のデータをご提供いたします。

受け入れに当たっての条件の中には、特に条件を付していないホーム、緊急避難として食費等のみをご負担いただくホーム、また新規の入居契約を締結するホームまで様々です。

この調査では、被災した協会加盟ホーム入居者の受け入れのほか、事態の緊急性に鑑み、被災地域の協会非加盟ホームの入居者の受け入れについても確認をさせていただいております。

**3. 電力会社による計画停電の件**

東京電力による第1回目の計画停電実施前に、会員宛に緊急連絡を行いました。計画停電は今後も続き今夏の実施も予定しています。また東北電力は3月27日までは実施しない、としています。

該当する地域の会員におかれましては、引き続き実施予定等にご留意され、電気をを用いる医療器具等を使用している入居者の対応を、医療機関と協議していただきますようお願いいたします。

以上